

1. 中学校・高等学校教員免許状の取得について

(1) 免許状の種類

中学校教諭一種普通免許状（英語）
高等学校教諭一種普通免許状（英語）

本学外国語学部では、中学校と高等学校の同時取得が原則です。

(2) 免許状の取得方法

学部の授業に加えて、教員免許状取得のために設けられた課程を、教育職員免許法等にしたがって履修し、単位修得することで教員免許状を取得できます。教職科目の履修方法などについては、入学後に実施される「教職課程履修ガイダンス」で詳しく説明されます。

なお、教員免許という資格の意義・重要性から、免許取得のための課程を受講するには、本学が掲げる「人間共生理念」を基礎とした志願理由が明確であることが求められます。

2. 外国語学部教職課程の履修について

(1) 単位修得について

次の表は、教員免許取得要件に対応した本学カリキュラム上の最低限修得すべき単位数を表しています。

科目区分と科目		中学校免許状	高等学校免許状
教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目		8	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門事項	21	21
	英語の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4
教育の基礎的理解に関する科目	科目は、学則別表参照	11	11
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	科目は、学則別表参照	10	8
教育実践に関する科目	科目は、学則別表参照	7	5
大学が独自に設定する科目	科目は、学則別表参照	2	10
		67	67

(2) 教職課程科目一覧

免許法施行規則第66条6に定める科目は、教職課程を履修する者は必修です。必ず単位を修得すること。

免許法施行規則に 定める科目区分		授 業 科 目	単位数 必修
六 条 の 六 に 定 め る 科 目	日 本 国 憲 法	日本国憲法	2
	体 育	健康の科学	2
	外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	English for School Purposes a	1
		English for School Purposes b	1
	数理・データ活用及び人工知能に関 する科目又は情報機器の操作	情報処理演習 a 情報処理演習 b	1 1

学則[第15条第7項/第8項第3号別表] [中学校教諭一種普通免許(英語)]

免許法施行規則に定める科目区分等			授業科目名	単位数		履修方法等	
科目区分	各項目に含めることが必要な事項			必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学a 英語学b 英語音声学・音韻論a 英語音声学・音韻論b 英語史a 英語史b	2 2 2 2 2 2		「教科に関する専門的事項科目」から必修科目15単位、及び選択科目6単位、合計21単位以上を修得すること。ただしこのうち1単位については、「大学が独自に設定する科目」に充当できる。	
		英語文学	アメリカ文学a アメリカ文学b イギリス文学a イギリス文学b	2 2 2 2	2 2		
		英語コミュニケーション	Speaking 8 a Discussion 8 a Reading II-a Writing II-a English for Seminar Purposes a Screen English Conference English Media English	1 1 1 1 1 2 2 2			
		異文化理解	異文化コミュニケーション アメリカ文化論a アメリカ文化論b イギリス文化論a イギリス文化論b Intercultural Communication	2 2 2 2 2 2			
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に関する科目					
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			2 2 2 2		
		科目 教育の基礎的理解に関する	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		必修科目11単位のうち1単位については「大学が独自に設定する科目」に充当できる
			教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論（チーム学校への対応を含む。）	2		
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学（地域連携と学校安全を含む。）	2		
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育		1				
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論		2				
等に関する科目 道徳、総合的な学習の指導法及び生徒指導、教育相談	道徳の理論及び指導法		道徳教育の指導法	2	総合的な学習の時間の指導法の理論及び方法を含む		
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動の指導法（総合的な探究の時間を含む。）	2				
	特別活動の指導法	教育の方法及び技術（ICTの活用含む。）	2				
	教育の方法及び技術（情報通信技術を活用した教育の理念及び方法を含む。）						
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む。）	2				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談（カウンセリングを含む。）	2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
関する教育実践に 科目	教育実習	教育実習の指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	1 2 2				
	学校体験活動						
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2				
	大学が独自に設定する科目	英語コミュニケーション特講Ⅰ-a 英語コミュニケーション特講Ⅰ-b 学校インターンシップ 異文化間教育学 比較教育学 教育人間学	1 1 2 2 2 2	「大学が独自に設定する科目」の必修科目、選択科目、又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上修得すること			

注1)「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」は卒業に必要な単位には含めることができない。

注2)教職履修の条件については、別途定める。

教職課程について

学則〔第15条第7項/第8項第3号別表〕〔高等学校教諭一種普通免許（英語）〕

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目名	単位数		履修方法等
科目区分	各項目に含めることが必要な事項		必	選	
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	英語学a	2		「教科に関する専門的事項科目」から必修科目15単位、及び選択科目6単位、合計21単位以上を修得すること。ただしこのうち1単位については、「大学が独自に設定する科目」に充当できる。
		英語学b	2		
	英語文学	英語音声学・音韻論a	2		
		英語音声学・音韻論b	2		
	英語コミュニケーション	英語史a	2		
		英語史b	2		
	異文化理解	アメリカ文学a	2	2	
		アメリカ文学b	2	2	
	異文化理解	イギリス文学a	2	2	
		イギリス文学b	2	2	
科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に関する科目				必修科目8単位のうち4単位については「大学が独自に設定する科目」に充当できる
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		2		
	英語科教育法Ⅰ		2		
	英語科教育法Ⅱ		2		
	英語科教育法Ⅲ		2		
	英語科教育法Ⅳ		2		
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2		
等	道徳の理論及び指導法				必修科目11単位のうち1単位については「大学が独自に設定する科目」に充当できる
	総合的な探究の時間の指導法				
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術（情報通信技術を活用した教育の理念及び方法を含む。）				
	生徒指導の理論及び方法				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	特別活動の指導法（総合的な探究の時間の指導法を含む。）		2		
	教育の方法及び技術（ICTの活用含む。）		2		
	生徒指導論（進路指導を含む。）		2		
関	教育実習		1		必修5単位のうち、2単位については「大学が独自に設定する科目」に充当できる
	教育実習Ⅰ		2		
	教育実習Ⅱ		2		
	学校体験活動				
	教職実践演習		2		
	教育実習の指導		1		
	英語コミュニケーション特講Ⅰ-a		1		
	英語コミュニケーション特講Ⅰ-b		1		
	学校インターンシップ		2		
	道徳教育の指導法		2		
大	異文化間教育学		2		「大学が独自に設定する科目」の必修科目、選択科目、又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上修得すること
	比較教育学		2		
	教育人間学		2		
	英語コミュニケーション特講Ⅰ-a		1		
	英語コミュニケーション特講Ⅰ-b		1		
	学校インターンシップ		2		
	道徳教育の指導法		2		
	異文化間教育学		2		
	比較教育学		2		
	教育人間学		2		

注1) 「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」は卒業に必要な単位には含めることができない。
 注2) 教職履修の条件については、別途定める。